

国際研修(コ05)

目的 近年日本の材料や道具、保存修復の理念が諸外国の文化財修復に応用されるようになってきた。このような状況において、海外の保存修復関係者に直接日本の技術や知識を伝える場が求められている。そこで、国内外において国際及び各国の機関と共催、あるいは協力を得て、研修等を開催することで、保存修復関係者への技術移転、情報共有を行う。

- 成果**
1. 国際研修「日本絵画の修復」(International Forum “Restoration of Japanese Painting”)
 (「在外日本古美術品保存修復協力事業コ04」及び受託「ポーランド・クラクフにおける文化財保存技術発信・交流事業」との共同事業)
 期日：2019(令和元)年7月29日～30日
 主催：東京文化財研究所、日本美術技術博物館Manggha、文化庁
 会場：日本美術技術博物館Manggha(ポーランド・クラクフ)
 2. ワークショップ「染織品の保存と修復(Workshops on the Conservation of the Japanese Textiles)」
 主催：東京文化財研究所、国立台湾師範大学 会場：国立台湾師範大学(台湾・台北)
 ア) 基礎編「日本の染織品文化財」 イ) 応用編「日本の染織品の修復」
 期日：2019(令和元)年8月14日～16日 期日：2019(令和元)年8月19日～23日
 参加者：11名 参加者：6名
 3. 国際研修「紙の保存と修復(International Course on Conservation of Japanese Paper)」
 期日：2019(令和元)年9月9日～27日
 主催：東京文化財研究所、ICCROM
 会場：東京文化財研究所他国内
 参加者：10名
 4. 国際研修「ラテンアメリカにおける紙の保存と修復(Curso Internacional de Conservación de Papel en América Latina)」
 期日：2019(令和元)年10月30日～11月13日
 主催：東京文化財研究所、ICCROM、INAH
 会場：CNCPC-INAH(メキシコ・メキシコシティ)
 参加者：9名
 5. ワークショップ「漆工品の保存と修復(Workshop on Conservation and Restoration of Urushi Objects)」
 期日：2019(令和元)年12月2日～6日
 主催：東京文化財研究所
 会場：ケルン市博物館東洋美術館(ドイツ・ケルン)
 参加者：6名

刊行物・『国際研修「ラテンアメリカにおける紙の保存と修復」2019』東京文化財研究所 203

・『ワークショップ「染織品の保存と修復」2019』東京文化財研究所 203

・『ワークショップ「漆工品の保存と修復」2019』東京文化財研究所 203

研究組織 ○加藤雅人、友田正彦、後藤里架、五木田まきは(以上、文化遺産国際協力センター)、早川典子(保存科学研究センター)、菊池理予(無形文化遺産部)、三本松俊徳、小田切真梨、石川絵梨子(以上、研究支援推進部)、石井美恵、杉山恵助(以上、客員研究員)